

炊き出しボランティア通信

vol49

2011,6月

炊きだし 6月11日(土)小雨のち晴 12:00 ~ 五橋公園

予報がはずれて朝からずっと雨でした。Wさんは公園にテントを張ってそこで衣類提供もするつもりでいました。我々もその覚悟で、いざ張り終わったところで青空が見えてきました。「おめでとうございます」とWさん。

公園に集まった方は54人(女性2人)でした。被災で石巻から流れてきてのホームレスの方もあり。本校からなんと12人もの3年生のボランティアが参加しました。進路で忙しくなる3年生を先へ持ってきた結果、正平協にこのようなご迷惑をお掛けすることに…。初めての参加も数人いますが、複数回の参加経験の生徒たちが多いので、要領は知っていました。

私をはじめ炊き出しに参加したときは何をしていたかわからず接し方も分かりませんでした。ですが回数を重ねてゆくうちに皆さんとの会話が生まれたり楽しみが増えてゆきました。この活動で得たものはきっと将来役に立つと思うので大事にしてゆきたいです。

今回で三回目の炊き出しボランティアでした。1回目から比べると少しは動けるようになり手伝いも上手くできました。こういう活動はとても大切なことだと思いました。機会があればまた参加したいです。

今回で2回目の炊き出しだったので仕事がスムーズにできました。みんなで分担して、私はおにぎりを作ったり、野菜を切ったり楽しくできました。ホームレスの一人の人にでもありがとうと言われとても嬉しかったです。雨がやんで、よい炊き出しでした。卒業までにぜひもう一度やりたいです。

炊き出しに出るたびに思ったことは、ホームレスの皆いい服を着ている人が多いなということでした。顔なじみになる人も結構いて、見かけると元気でよかったです。また自分的には今こうしてぜいたくできるのが凄くありがたいことなんだと改めて感じることができました。物を粗末にしないようにしようと心から思いました。

献品 今月は小学校の保護者から韓国海苔が大量に入った驚くほど大きなダンボールや衣類と献金をたくさん預かりました。ありがとうございます。

夜回り 6月8日(水)20:15~21:30

Ahさんと一緒。国際センター二人。大橋を渡ってその下に住むKuさんへ向かう。。石の階段は最近の雨で草丈高。通れずに迂回する。Ahさんは車で待機。「Kuさーん」とライトを照らしながら5回ほど呼ぶ。反応なし。おむすび置いて帰ろうか、と思ったときに、一番奥のコンクリの柱の手前で黒い塊がむっくりと起きあがって「ハイ」と言った。話をしながら手製の具入り味噌スープを作る。ここに住んで1年ちょっとであること。今の季節川からの虫がハンパでないこと。「いつもすみませんねえ。なにか献品したいのですがねえ。」目の前の大量のゴミの山をゆび指し、「これ全部Kuさんの?」「ハイ」「へー……」

西公園石のベンチのおじいさんはめずらしく起き上がって座っていた。「ここは夜でも人が多いでしょ?誰かにやられたり、からかわれたりはしない?」「からかわれる」「暴力は?」「それはない」陸橋下のOさん。こんばんは、とビニールの奥へ声をかけると、「まだ生きてました」と言いながらのっそり現れた。話しぶりも元気。いつぞや市の保護課のさしがねで実の姉がいきなり現れさんざん説教されたときにはすっかりしょげかえていたが…。お別れのあいさつも、「それじゃ来月までまたお元気でいて下さい」と言うと、「どうなっていることやら」と言う。Ahさん「Oさんはあそこにどのくらいなんですか?」「12~13年でしょう」

ボランティア参加希望や献品がありましたらよろしくお願ひします。